



## 『大人も子どもも、ワクワク主体的に！』 ～今ここで育つ力が、子どもの将来と町の未来へ～

日南町の豊かな自然が、みずみずしい緑に包まれる気持ちの良い季節になりました。

先日、人材育成研修に参加し、「大人の主体性が組織全体の成長につながる」というお話を聞きました。それは、まさに今、私たちの園が取り組んでいることと同じ内容でした。実はこれ、私たちが一番大切にしている「子どもたちの主体性を育てる保育」と、まったく同じことなんです。

いま、社会でも「自分で考えて動ける人」がとても求められています。指示を待つだけでなく、一人ひとりが主体的に考えてチャレンジする職員が増えることこそが、組織全体の価値や力を高める（人的資本の向上）と言われているからです。

それは、これからの時代を生きる子どもたちの将来にも、そっくりそのままつながっています。子ども時代に「どうしてかな？」「次はこうしてみよう！」と自分で考え、失敗してもあきらめずに遊びきった経験。この【主体的に考える場面】にたくさん出会ってきた子こそが、将来、社会に出たときにも自分を信じて、たくましく道を切り拓いていくことができるのです。

だからこそ、まずは私たち教職員が、日南町の子どもたちのために「こんな保育をしてみよう！」と主体的に考え、試行錯誤する姿（学びの共同体）を子どもたちに見せていきたいと思っています。大人も子どもも、みんなが「自分で考えて、選んで、やってみる」。

保護者の皆様、ぜひ私たちと一緒に迷ったり笑ったりしながら、子どもたちの成長を応援していきましょう。

### 予告【見守る保育講演会】令和8年12月21日（月）18時30分～

保護者の皆様と一緒に学びを深めるために、講演会を計画しました。予定に入れていただき、ぜひご参加ください。詳細は近づきましたらお知らせいたします。

### しっばいは 未来の たねまき

### 『はじめまして、風呂敷！』

～今年度、希望される4・5歳児クラスのご家庭に、貸出絵本の持ち帰り袋に、「風呂敷包み」の活用を取り入れてみました。～

#### 風呂敷包みの素敵なメリット

- ・指先の発達（結ぶ・包む・ほどくといった一連の動作が手先の器用さを育みます）
- ・空間認識力の向上（絵本をどう包むのか、頭の中で立体を意識します）
- ・自己効力感（「一枚の布がバッグになった」という目で見える変化が分かりやすく、達成感が自信に繋がります）

1枚の布「ふるしき」に出会った時、子ども達はどう扱うのか？

「えほん、どうやっておくの？」「どうやって、むすぶの？」「どうやって、ほどくの？」という、つぶやきが聞かれました。

『出来ないこと』の『葛藤』に向き合うチャンスです！

あきらめない心、チャレンジ精神、プチストレスに向き合う耐性、創造性、を経験する場面です。

さて、こんなつぶやきに、大人はどんな反応をしたらよいのか、悩みますよね。

（全部やってあげてしまっても…）（大人がしてしまう方が早い…）

（結べるようになってほしい…）（どこまで手伝おうか…）

ここで、一度、子どもの発想で自由に、布と向き合って遊び、自由に扱って、楽しんでみるのはどうでしょうか？

大人の固定観念を裏切る、新しいデザインの『創造風呂敷』が生まれるかもしれません。

『包む』『結ぶ』という動作だけで終わらず「こんな風になるんだ」「こんなこと出来るんだ」と『発見』と『感動』を味わう、親子の共有のひと時にしてみたいはいかがでしょうか。

初めて風呂敷を包んだ子ども達からは、

「（先生と結ぶ）てつだいがたのしかった」

「（風呂敷は）でっかいえほんがはいるからよかった」との声が聞かれ、

“めんどくさいと思う事”の価値が生まれていますよ。

いざ！  
試行錯誤！

